

発明の名称	物体内部位計測システム、物体内部位計測用演算装置、物体内部位計測用プログラム及びそのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体 (特許第 4512833 号)	
学内発明者	太田 直哉(理工学府) 茂木 健司(元医学系研究科) 中曽根 良樹(元医学系研究科)	
技術分野	医療用画像診断技術	IPF17-001JP
発明の概要	物体表面上の基準位置に対するオトガイ孔の方向や位置のような特定部位の3次元情報を安価に、測定に要する手間や患者へのX線照射量を極力抑えて、精度良く決定することができる物体内部位計測技術を提供する。	
説明図		基準物体の皮膚枠及びフィルム枠と、X線フィルム、X線源、身体内の特定部位R、X線フィルム上の前記特定部位R'の関係を示す側面図である。
ポイント	1枚の2次元X線写真と基準物体を用いて物体内の特定部位の像に対する物体内部の特定部位の方向を、安価に、測定に要する手間や患者へのX線照射量を極力抑えて、精度良く決定することが可能となる。また、2枚以上の2次元X線写真と基準物体を用いて物体内の特定部位の像に対する物体内部の特定部位の3次元位置を、安価に、測定に要する手間や患者へのX線照射量を極力抑えて、精度良く決定することが可能となる。	

発明の名称	顕微鏡観察再現方法、顕微鏡観察再現装置、顕微鏡観察再現プログラムおよびその記録媒体 (特許第 3837577 号)	
学内発明者	蒲 貞行(元保健学研究科)	
技術分野	画像学習装置	IP17-017
発明の概要	顕微鏡観察を再現する動画を表示させ、且つその動画上の特定部位に関する噴出し説明を任意に自動表示させることのできる顕微鏡観察再現方法ならびにその装置、プログラムおよび記録媒体を提供する。	
説明図		(a)~(d)は、各々、本発明の一実施例を示したコンピュータ画面のハードコピー図。
ポイント	顕微鏡観察を再現する動画(AMI)を表示させている際に、たとえば学習指導上重要と思われる異型細胞等の要注意細胞や組織などの特定部位についての噴出し説明を任意に自動表示させることができ、これにより従来にも増して詳細なヴァーチャル顕微鏡学習が可能になる。	